

視点・論点

9月定例会

9月定例会において、各常任委員会及び特別委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

決算審査特別委員会

正副委員長の互選と平成十三年度一般会計歳入歳出決算認定についての審査を行いました。

決算認定については、今会期内において結論を見るに至らず、全員が継続審査に賛成しました。

委員会の構成は次のとおりです。

- 〈委員長〉 佐藤 克司
- 〈副委員長〉 岩切 幹嘉
- 〈委員〉 北田 織
- 〈委員〉 藤井 俊雄
- 〈委員〉 武末 哲治
- 〈委員〉 友廣 英司
- 〈委員〉 金堂 清之
- 〈委員〉 古賀 恭子
- 〈委員〉 古川 詳翁
- 〈委員〉 長能 文代

総務委員会

総務委員会に付託された議案は補正予算案件一件、報告案件一件、請願一件でした。

専決処分「平成十四年度一般会計補正予算(第二号)について」は下水道事業会計において公営企業借換え債が許可になり、このため企業債利息が減となり、補正を行うもので、全員が承認しました。「一般会計補正予算(第三号)について」議論になったのは中学校給食実施に関する予算一億五千五百万円とバスセンター整備予算八

文教委員会

千三百三十万円でした。特に待合室の建築費が坪百十六万円となることに議論が集中し、執行部から「華美にならないように努力する」との答弁をもらい、バス五台が停車できる発着所と車いすの通路などの整備、市内の停留所設置費用などを含めて、補正の内容を慎重に審査し全員が賛成しました。請願は金融アクセスメントの法制化で全員が意見書を出すことに賛成しました。

付託された議案は「人権擁護委員の候補者の推薦について」の二件でした。松川瑞恵氏と齊野知恵子氏を委員に推薦することについて議会の同意が求められた議案で



中学校給食の配膳室建設予定地を視察する文教委員会

す。委員会では、両氏が適任者であることを確認するとともに、女性の登用が積極的に行なわれており、委員の四十二％、七人中三人が女性委員であることも評価できるとして、全員が両議案に同意しました。

付託案件ではありませんが、中学校給食(弁当給食)実施について、「温蔵庫や冷蔵庫も備え、温かい食品は温かいままで、冷たい食品は冷たいままで提供するなど全国一の中学校給食の実施をめざしている」という執行部の説明を受け、安全な食材の提供や、教育委員会の管理責任を明確にするなどを要望いたしました。

厚生委員会

議案八件・報告一件及び請願一件について審査を行いました。第五十九号議案「春日市高齢者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について」は、老人保健法の一部改正に伴う市条例の改正です。老人保健法では、老人医療の対象年齢が七十歳から七十五歳に引き上げられ、七十一歳から七十四歳までは国民健康保険の被保険者になると改正されました。よって、「六十八歳以上の者」を「六十八歳から七十歳到達月までにある者」と改正することで、六十八歳と六十九歳を対象とする当市の高齢者医療助成事業の対象年齢を明

文化したものです。委員会では全員が原案に賛成しましたが、高齢者の年齢区分や財政面を考慮して今後、本事業の継続等について、意見が出されました。

建設委員会

平成十三年度の決算認定三議案(国民健康保険事業・老人保健医療事業・介護保険事業)については全員が継続審査に賛成しました。今定例会で建設委員会に付託された案件は、予算案件四件、決算認定四件、条例改正三件、その他の議案三件、報告案件一件の計十五議案でした。

報告案件の下水道事業会計補正予算(第一号)は約四億円の企業債の低利率への借り換えを行ったものです。

予算案件の四議案は、平成十三年度の決算確定による繰越金の増額などの補正が主たる内容です。条例改正は公園の管理と自動車駐車場の利用料金の引き下げで、消費税を内税とし、初利用料金を一時間二百円から三十分百円にするものです。

字の区域及び名称の変更と市道路線の認定は現地調査も行いました。決算認定の四議案は、すべて継続審査とし、他の議案はすべて全員賛成となりました。